

校長室から

校長 倉持利夫

3月1日、本校第63回卒業式が、多くのご来賓と保護者の皆様にご来臨いただき、厳粛かつ盛大に挙行されました。

本校は明治43年の創立以来103年の伝統ある学校です。今年の卒業式もその歴史と伝統に支えられた厳かな式典でした。卒業生、そして保護者の皆様には心からお祝いを申し上げます。

保護者の皆様には、朝な夕な手塩にかけて慈しんでこられた卒業生の姿を前にして、そのお喜びはいかばかりかと拝察する次第です。また本日までの本校教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんには今日を境に社会人としての生活が始まります。現在の日本の状況は厳しいものがありますが、皆さんには本校で培った知識、逞しい心と身体、そして健全な精神が存在します。どんな状況下でも鹿島高校の卒業生として誇りと自信を胸に様々な苦境を乗り越え、幸せな人生を歩んで欲しいと心から祈念いたします。

ドイツの哲学者ショーペンハウアーは「幸せを数えたら、あなたはすぐに幸せになれる」と言いました。幸せになるのは簡単である。幸せな人は幸せを見つけるのが上手い、不幸な人は不幸を見つけるのが上手いだけだと言います。自分を今囲んでいる幸せに気づき、皆さんにはさらに大きな幸せを呼び寄せて欲しいと思います。

本校第63回卒業生の前途洋々たる未来、そして限りない活躍を念じ、これからも本校教職員一同心から応援しております。

～これからの主な行事～

- 3月1日：卒業式
- 5日：県立高校入学試験（～6日）
- 13日：合格発表
- 20日：修了式
- 24日：春季休業
 - ・1, 2年生進学希望者学力向上講座
 - ・外部講師を依頼して実施
- 4月1日：平成26年度開始
- 7日：始業式
- 8日：入学式
- 9日：新入生、在校生対面式

祝卒業

卒業式は毎年あります。しかし、この学年は、特別に感慨深い三年間だったように思います。



【↑卒業生総代による卒業証書授与】

合格発表直後の【3.11】。その影響で、体育館が使えませんでした。教室に保護者の方にもお入りいただき、放送で入学式を行いました。



【↑三年前の入学式】

通学路の損壊など、様々な困難や不便とたたかいながらの三年間だったことでしょう。

けれど、そういうものを見てきた生徒たちだからこそできることがある、そう信じて、この学校からの旅立ちを祝福し、卒業生全員の未来に幸多からんことを祈ります。

【↑答辞】

本館耐震工事完成

本館の耐震工事が完成し、すっかりお色直されました。今回の工事では、見える部分だけではなく、トイレも綺麗になってます。工事はこれから、2棟から3棟へと進んでいく予定です。



放課後⑤～生徒会室～

これまで紹介してきた学校行事や、部活動・委員会活動などの運営母体は、【生徒会室】である。無論【室】は働かない。【室】に集う生徒会役員が、働くのである。文化祭【鹿苑祭】などの行事の本部となる。全ての企画は、そこから、そこに集う生徒から始まる。メンバーの中には、二期、三期と連続して勤める生徒や、部活動の中心人物だったりする生徒もいる。それでもそこに集う。なぜ？と問う必要は、おそらく、無い。問うまでもなく、彼らは、そこが楽しいから、来るのである。それは、実際に活動している様子を見ればわかる。春には51号沿いの花壇整備に参加し、冬には、光のアートギャラリーの準備にも参加した。活動は、学校や地域にとどまらない。十年位前には、長期間にわたる募金活動を展開し、ネパールに学校を建てたこともある。昨年12月の募金活動では、約10万円を売り上げ、経費を除いた金額を、フィリピンで台風の被害を受けた方々に寄付した。写真は、その時のもの。調理部と一緒に、カレー・ライスを販売した。



リレーエッセイ 鹿苑今昔～⑤～

この鳥居は校内にあるように見える。しかし、校地ではない。お宮が先か学校が先か、という議論をすれば、当然お宮が先であろう。

【押手宮】と言うらしい。立て札の文字は消えかけている。つまりは、鹿島神宮に関連した社のひとつであろうか。祠の周囲の木々も、いかにも、神域のそのようである。無論、学校は特定の神を祀るものではないから、普段はあまり意識することはない。けれど、誰よりも長く、ここに集う人々を見守ってきたのが、この社かもしれない。ぱん、ぱん。



鹿高なう～最近のあれこれ～

剣道部：県新人大会 女子団体第3位 男子団体第5位
女子バスケットボール部：県新人大会 第5位
陸上部：県高校新人駅伝大会 女子第4位
将棋部：全国高等学校文化連盟将棋大会出場（函館：1年生女子：予選リーグ3勝2敗）
卓球部：県新人大会 男子ダブルスベスト16
県東地区高等学校駅伝大会開催（1月23日）
本校からは陸上部8名、サッカー部3名、女子バスケットボール1名の生徒が学校代表として参加（補欠6名）し、神之池ランニングコースを激走しました。結果は以下の通りです。区間賞受賞者も続出しました。
男子 準優勝 女子 優勝
区間賞 男子【1区】
女子【2区、3区、4区、5区】

※3区は区間新記録達成

道徳ゲストティーチャー講演会開催（1学年）

去る1月21日、サッカー元日本代表の大野俊三氏をお迎えして、道徳の講演会が開かれました。体験に基づいた貴重なお話を伺い、生徒たちは何を感じたのでしょうか。全力を尽くすこと、諦めないこと…志を果たすために必要なのは、特別なことではなく、そんな日常生活を送っていくことなのでしょう。



編集後記：二年前の2月のことである。

誰もいないはずの三年生の教室に、体操服姿の女生徒がいた。一人で。「どうしたの？」「暇だから、掃除でもしようと思って。」・・・どこにでもある、普通の高校生の話である。＊卒業式に特別号を発行したため、第7号となりました。1年間、ご愛読ありがとうございました。

茨城県立鹿島高等学校学校だより
『鹿苑だより』第7号（隔月刊）
発行：茨城県立鹿島高等学校
校長 倉持利夫
編集：広報委員会
中沢雅彦 山崎律子

